

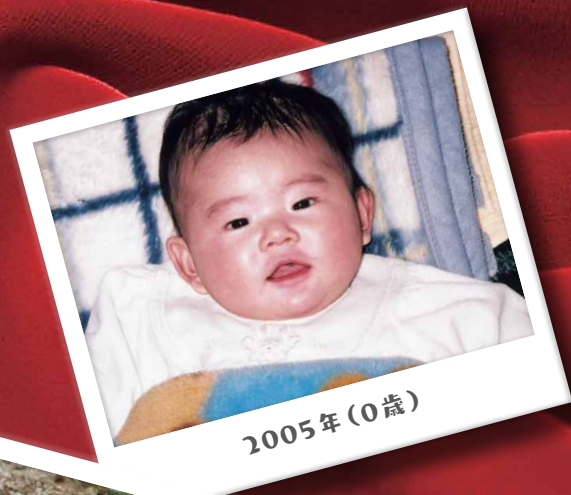


みさき

41号

美咲町議会だより

あれから
10年
—



主な内容

こんなことが決まりました — 4～5

常任委員会の活動 — 6～8

15議員が町政を問う — 10～24

第4回議会報告会を開催します — 25

大きく育て美咲のこども、心にきざむ天使の笑顔

美咲町HPアドレス <http://www.town.misaki.okayama.jp/index.htm>

2015年8月10日発行



芽生えた笑顔を…





～これまでの10年で



ことが決まりました

一般会計補正予算など12件の議案が上程されました。

棚田百選の小山地区に材料費を支給

「日本の棚田百選」に選ばれている小山地区に「東屋」「トイレ」設置に伴う材料費などを支給。

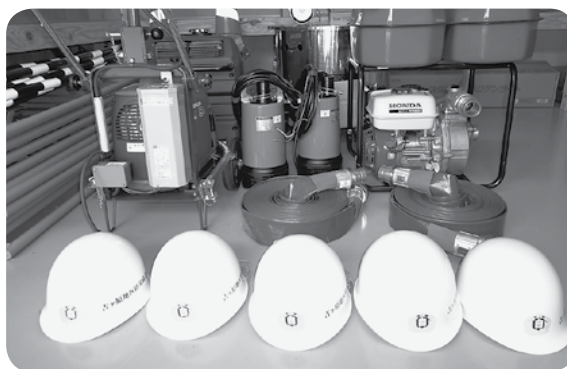
〔美しい農村再生支援事業540万円〕



江与味地区自主防災組織へ補助金を交付

江与味地区自主防災組織へ防災資材購入費として補助金を交付。(写真はイメージ)

〔コミュニティ助成事業200万円〕



さくら隊の法被を新調します

美咲町消防団女性部「さくら隊」が着用する法被^{はっぴ}を作成。

〔消防団加入促進モデル事業150万円〕



美咲町営火葬場の修理が必要に

昭和52年に完成した美咲町営火葬場が老朽化したため電力基盤の更新工事を実施。

〔美咲町営火葬場修繕工事151万円〕



補正予算

◎一般会計補正予算

歳入歳出の総額に1,647万円を増額する。

【主な歳入】

☆国庫支出金

505万円

☆県支出金

213万円

☆繰越金

1,181万円

☆諸収入

△258万円

【主な歳出】

☆コミュニティ助成

200万円

★あさひが丘管理

972万円

★火葬場維持補修

151万円

★棚田活性化

540万円

★交通安全施設

210万円

★林道アダプト

140万円

6月議会でこんな

6月2日～12日まで定例議会が招集され27年度

林道を維持管理する団体に材料費を支給

草刈りなど林道の維持管理を行う団体に対して材料費などを支給。

〔林道アダプト推進事業140万円〕



ガードレール設置で祖母中央線がより安全に

町道祖母中央線のがけ地に面した部分約160mにガードレールを設置。

〔交通安全施設整備事業210万円〕



あさひが丘空調機器も修理が必要に

老朽化した空調機器を改修するため、美咲町社会福祉協議会に対して補助金を交付。

〔老人福祉施設あさひが丘
空調設備改修補助金972万円〕



人事

岡部副町長の再任に同意

副町長の選任が提案され、全会一致で同意した。任期は平成30年6月30日までの4年間

美咲町原田

岡部 初江氏

(再任)



固定資産評価員の選任に同意

固定資産評価員の選任が提案され、全会一致で同意した。

美咲町錦織

山崎 秀仁氏

(新任)



条例

新しいごみ袋の料金決まる

〔廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正〕
一般廃棄物処理手数料の料金表を新たに付け加える。

新たに「健康福祉課」がスタート

〔課設置条例の一部改正〕
「健康増進課」と「保険・年金課」を統合して新しく「健康福祉課」を平成27年7月1日から設置する。

要望

中央かめっちグラウンドゴルフ場周辺整備に係る要望書

美咲町グラウンドゴルフ協会中央会

会長 影山照義

保安林の問題もあり、近隣施設の状況を調査する必要があるため継続審査とした。

常任委員会 の活動

総務常任委員会からの報告

総務常任委員会は、総務課：まちづくり課：情報交通課：税務課が所管する予算その他の案件について審議を担当しています。

委員長／山本宏治 副委員長／形井 圓 委員／延原正憲、江原耕司、三船勝之、貝阿彌幸善の6人で審議しています。

【総務課】 コミュニティ助成の啓発

問 助成事業の周知は徹底できているのか。

答 自治会長協議会の総会などで制度の説明をしている。今回は江与味地区から自主防災組織で使用する資機材の要望があり200万円の予算を計上した。

【まちづくり課】 空き家の管理体制

問 空き家管理の法律が改正されたが対応は。

答 法律に合わせた条例改正が必要になる。調査、指導、勧告や行政代執行などについての対策計画を立てるための協議会を設立して対応を図りたい。



旧打穴幼稚園職員室などを視察し、利用状況を確認した。
(打穴里)

◆その他視察先

- ・ 特定非営利活動法人やまさくら (旧打穴小学校)
- ・ 老朽家屋 (錦織、吉ヶ原、小原)
- ・ 旧柵原西幼稚園 (小瀬)

【情報交通課】 黄福タクシー利用状況

問 黄福タクシーの利用状況はどうか。

答 平成26年度の利用回数は1万6,658回、乗車数は2万1,033人。町の負担が1,936万円、個人負担が1,698万円だった。現時点の登録者数は1,562人。

【税務課】 軽四自動車税

問 古い軽四自動車の税金が上がるのはいつからか。

答 新規検査後13年が経過した軽四自動車の税金が28年度から改定される予定となっている。

民生・教育常任委員会からの報告

民生・教育常任委員会は、住民課：健康増進課：保険・年金課：こども課：福祉事務所：教育総務課：生涯学習課が所管する予算その他の案件について審議を担当しています。

委員長／松島 啓 副委員長／金谷高子 委員／林田 実、小林達夫、左居喜次の5人で審議しています。

【住民課】 美咲町営火葬場の修理

問 美咲町営火葬場は全体が老朽化しているが大丈夫なのか。

答 今回電気設備の修繕を行うために150万円の予算を計上した。これが終われば10年程度は継続できると考えている。

【教育総務課】 放課後学習サポート事業とは

問 放課後学習サポート事業は何をするのか。

答 放課後などの空いた時間でプリントなどを使って補充的な学習をしたり、家庭学習の支援などをする。



中央かめっちグラウンドゴルフ場周辺整備に係る要望の審査。トイレと駐車場整備の要望があり、現地を視察した。

(打穴下)

◆その他視察先
・町内8小中学校

【健康増進課】 介護保険の認定率

問 本町の介護保険認定率は他市町と比べて高いのでは。

答 認定基準は統一されていて問題ない。申請が多いことが認定率の高さにつながっている。

【保険・年金課】 国民健康保険の行方

問 国民健康保険が県に移行した時に保険税はどうなる。

答 平成30年には県に移行される。医療費の使用状況や保険税の収納状況によって金額が変わってくる。

【福祉事務所】 あさひが丘空調機の修理

問 無償貸与している施設の修理に補助金が必要なのか。

答 町が所有する施設であるため相当の負担が必要となる。

産業・建設常任委員会からの報告

産業・建設常任委員会は、上下水道課：産業課：建設課が所管する予算その他の案件について審議を担当しています。

委員長／下山和由 副委員長／岩野正則 委員／片山 剛、松田英二、岡田 壽の5人で審議しています。

【建設課】 道路維持作業員の確保

問 町道の草刈りなどを行う作業員は確保したのか。

答 2人の確保を予定していたが、1人しか確保できていない。このため作業の一部については業務委託に切り替える。

【産業課】 棚田の保全・継承

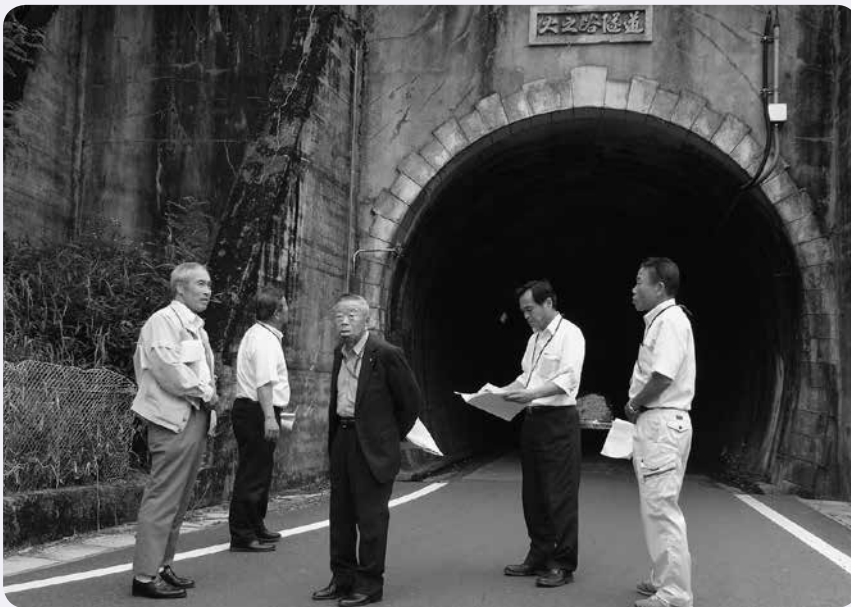
問 美しい農村再生支援事業540万円の内容は。

答 小山の棚田に東屋・トイレを整備し、収穫祭などのイベントやパンフレットの作成を2年間実施するもの。

【上下水道課】 水道統合整備

問 簡易水道統合整備の状況は。

答 平成25年度に策定した整備計画に沿って、配水管・配水池・ポンプ場などの施設整備を各地域で進めており、平成29年3月末の完成を予定している。



完成後87年が経過する火之谷トンネルの防災工事予定箇所を確認した。(吉ヶ原)

◆その他視察先

- ・国道429号江与味第2トンネル (江与味)
- ・小山棚田 (小山)
- ・町道打木沢盛上線 (北)

執行部に対して意見を付す

本町では、特殊工法で行う工事の入札に対して町内の建設業者が参加することができない体制となっている。今後、町内業者の育成と地域経済の活性化を図る上において、特殊工法の入札を実施する際には、大手業者と町内業者による共同企業体を編成して実施できる体制を整えていくことが望ましい。

町政を問う

一般質問は町民を代表し、町長・教育長などに
町の方針や施策を問います。

ページ	議員名	質 問 内 容
10	片山 剛	1. 柵原東小の外壁は放置するのか 2. どうなったカワウ駆除への助成金
11	金谷 高子	1. みさき創生総合戦略の取り組みは 2. 健康寿命を延ばすための施策は
12	下山 和由	1. 地方創生の具体的方策は 2. 健康管理にラジオ体操の励行を
13	左居 喜次	1. 消防団員の活動支援策は 2. 公共施設の備品を整備する考えは
14	小林 達夫	1. 健康増進に向けた町の対策は 2. 国道53号線を「チキンロード」に

ページ	議員名	質 問 内 容
15	三船 勝之	1. 子どもの貧困対策は十分か 2. 高齢者の医療費無料化の考えは
16	江原 耕司	1. 不足している駐車場とトイレの増設を 2. 道路整備の課題解決に向けた策は ◇ 町道長原線に待避場所を ◇ 諏訪古墳群へトイレの増設を ◇ 50人委員会の現在の状況は ◇ 美咲町の発展は
17	形井 圓	1. 町民の安全のために歩道設置を 2. 自宅介護者へ手厚い支援を ◇ 町独自の支援事業拡充を ◇ 中央かめっちグラウンドゴルフ場周辺の整備
18	松田 英二	1. 介護保険法改正に対する町の方針は 2. 地方創生の柱は安定した雇用の確保である
19	岩野 正則	1. 空き家等適正管理の現状はどうか 2. 結婚推進事業 次の展開は ◇ ふるさと納税で産業振興 ◇ 職員採用年齢の10歳引き上げを

ページ	議員名	質 問 内 容
20	岡田 壽	1. 子どもたちの夢が実現する美咲町に 2. 人口減少対策に積極的な結婚推進を ◇ 関連団体との関係強化でスムーズな事業推進
21	松島 啓	1. 協働のまちづくりをどう進めるのか 2. さらなる町のPRを ◇ 高齢者、要介護者に支援を
22	延原 正憲	1. 高齢者の生活環境悪化意識の改善策は 2. 老朽危険家屋への早急な対応を ◇ 有害鳥獣対策について
23	山本 宏治	1. 奨学金制度で若者定住対策を 2. 国道429号改良の進捗状況は
24	林田 実	1. 3世代同居促進の具体策は

議会だよりには、
2問まで掲載しています。
掲載できなかった質問は
◇で表示しています。

質問

柵原東小の外壁は 放置するのか

町政を問う

一般質問

片山 剛 議員

答弁

9月の補正予算に 計上し対応する



早くきれいになりたいナ～
(柵原東小学校)

問

柵原東小学校校舎棟の屋根には庇が設置されていないため、雨が直接壁にかかり真っ黒く大変汚れている。

高圧洗浄機で水洗いすれば汚れが落ちるとも聞いている。
足場を組まずに高所作業車を使って移動すれば費用もあまりかからないと思うがいつまで放置するのか。

答

石戸教育総務課長
柵原東小学校は旧北和気小学校と旧南和気小学校が統合して建築され、平成5年4

月に開校以来22年が経過している。

校舎、屋内運動場の外壁の汚れについては、年々目立ってきている。

学校からも教育環境の整備として早急な対応について要望が出ている。

清掃か塗装するという対策が考えられるが、最善策を検討し早急に協議する。

答

定本町長
試験的に洗浄してみようと9月の補正予算に事業費を計上して対応する予定である。

質問

どうなった カワウ駆除への助成金

答弁

県協議会との連携を模索する

問

岡山県が立ち上げた協議会に本町が参加しているかどうかなど町民にお知らせしてはどうか。

また、カワウの駆除について助成金は。

答

畝本産業課長
岡山県が協議会を設立し、昨年会議が開かれた。本町は公務が重なり出席できなかったが、今後は出席する。

5月11日の猟友会の会議で、会長からカワウ駆除の助成金を検討するようにと依頼があった。

岡山県カワウ対策協議会と連携を図りなが

問

ら、猟友会と協議したい。
大変危険を伴う駆除活動である。ぜひともカワウ駆除に助成金を出すべきと思うが、町長の考えはどうか。

答

定本町長
河川の管理は県もしくは漁業組合となっており、2者の考え方と一致した考え方で町もやっていきたい。
カワウの他にもシラサギ、ブルーギル、ブラックバスなども生態系に影響を与えている。カワウに限らず県協議会に問題提起し、要望しながら町として対応していきたい。



増やしたいサカナ、減らしたいカワウ

町政を問う

一般質問

金谷高子 議員



みさき創生総合戦略の 取り組みは

質問

若手職員を中心に町の 将来像を描く

答弁

問 地方創生「まち・ひと・しごと地方版総合戦略」と「人口ビジョン」の策定に各自治体が動きだした。

①本町も「みさき創生総合戦略推進本部」を設置しているが内容は、

②美咲町の将来を決める重要な計画である。プロジェクトチームの中には若い職員の参加が必要と考えるが、チームの体制はどうなっているか。

③総合戦略を進めていく上で最も必要なことは何か。



職員のみさき創生プロジェクト会議

答 畑尾まちづくり課長

①2月に町長を本部長とした第1回本部会議を開催した。各課から取り組みたい事業を提案し、今後のスケジュール、7月中の人口ビジョン策定、10月中の総合戦略策定に取り組むことなどを確認している。

②若手を中心としたチームを作り、その中で集中的に審議していく体制を進めていく。

③美咲町の将来の姿を描くというところが職員で共有することがとても大事なことであり、と考えている。

問 美咲町は健康づくり事業に取り組んでいる。

①健康寿命の目標は掲げているか。

②町民の健康上の問題点と改善策は。

③コロボン体操の効果は出ているか。

④グラウンドゴルフなどの運動は、介護予防や認知症予防に効果的と言われているがどうか。



延ばすぞ健康寿命!

質問

健康寿命を

延ばすための施策は

答弁

生活習慣改善に向けた

環境を整える

よう努力していく。

②病気を理解したり、生活習慣の改善を継続的に行えるような環境を整えていくことが必要と考えている。

③参加された人の体力測定の結果や主観的な健康観で分析するとかなり効果が出ている。

④グラウンドゴルフは高齢者の身体活動に非常に適しているというデータが出ている。

定期的に高い割合でコロボン体操は取り組んでもらっているが、もっと密度を高くしていきたい。

質問

地方創生の具体的方策は

町政を問う

一般質問

下山和由 議員

答弁

将来性や地域性など 結果を重視する



みさき創生の拠点 役場庁舎

※スクラップ・アンド・ビルド…これまでの考え方を廃棄して新たに再構築すること。

基本目標、施策の基本的方向、具体的な施策、施策に対する客観的な指針の素案など、職員が関わり作成する。自立性、将来性、地域性、直接性、結果重視などの要件を踏まえ

地方創生提案事業があり、職員の意見を募集するなど各職員の意見を求めている。

答 煙尾まちづくり課長
地方創生の美咲版総合戦略は10月をめどに作成するため、このほどプロジェクトチームが始動した。

答 木谷総務課長
交付税が段階的に減額される中で職員には※スクラップ・アンド・ビルドの考え方の統一を図っている。

問 職員でプロジェクトチームを作り、地方創生事業に取り組んでいるというところだが、具体的な方策は。

問 財政が厳しい現状で今後、町政進展のためには思い切った施策が必要である。職員の意識改革と個人の能力を生かして取り組むべきではないか。

質問

健康管理に ラジオ体操の励行を

答弁

告知放送での対応を図りたい

問 長年歩んでこられた高齢者が生き生きと過ごせるようにすることが行政の務めである。
福祉を主軸にした町政を進めるため、今後の方針は。

また、町をあげて健康管理を徹底すべきである。まず、職員がラジオ体操など励行してみてはどうか。
時間を決めて告知放送でラジオ体操を流し、どこにいても各自でラジオ体操ができる環境づくりをしてはどうか。

問 長年歩んでこられた高齢者が生き生きと過ごせるようにすることが行政の務めである。

答 定本町長
いかに健康状態を良好に保つていくか、健康年齢をいかに長くしていくかが最も重要である。



一日の始まりはラジオ体操から



消防団員の活動支援策は

質問

消防団協力事業所

表示制度を導入する

答弁

問 木谷総務課長
「消防団協力事業所表示制度」について

問 消防団員に占めるサラリーマン団員の割合は約8割となつている。
事業所として消防団に協力することがその地域に対する社会貢献と認められ、当該事業所の信頼性の向上につながることに、地域の防災体制が一層充実される制度として「消防団協力事業所表示制度」がある。
制度の導入と優遇措置を考える予定はないか。



では、研究しており、要綱などのひな形も作成段階に入っている。今後、詳細を詰め、制度実施を行う。
答 定本町長
協力事業所へのメリットについては、先進市町村の状況を参考にしながら検討を重ねたい。

答 鈴鹿生涯学習課長
体育館の利用については不便を強いら

問 3町が合併し、文化交流の場として旭地域は旭町民センター、柵原地域は柵原総合文化センター、中央地域においては旧打穴小学校体育館がその一翼を担っている。
旧打穴小学校体育館は、文化祭やカラオケ発表会など多岐にわたって利用されている。
建物は堅固だが、椅子や机の備品が老朽化しており、舞台の緞帳は破れた状態である。
既存の施設を有効に活用するためには備品の整備が必要と考えるがどう対応するのか。



利用しやすい公共施設に
(旧打穴小学校体育館)

れているという声も聞いている。
椅子や机など必要な台数や個数を試算し、協議したい。
緞帳は椅子や机の整備が終わってから考えていく。
答 定本町長
椅子や机の不足分については調査している。6月は無理だが、早めに予算化し、整備

質問

公共施設の備品を

整備する考えは

答弁

必要な備品を試算し協議する



健康増進に向けた 町の対策は

町政を問う
一般質問

小林達夫 議員



介護予防にしっかり 力を入れる



問 本町の介護保険料は県内トップ、全国でも3番目に高いことで全国テレビでも紹介された。

また、国民健康保険税も県内でも高い方に位置するが、平均寿命や健康寿命は最も低いと耳にしたことがある。本町の平均寿命、健康寿命は。

また、コロボン体操の普及に力を入れているが、もはやコロボン体操だけでは改善できないレベルにきているのではないか。

高齢者の健康増進を進める上で、担当課だけではなく町全体で高齢者宅の戸別訪問を実施するなど何らかの対策は考えているのか。



答 村島健康増進課長

平均寿命、健康寿命は表のとおりで、女性は大体県平均に近いが、男性は県平均より低い現状。

この3年間介護予防



答 定本町長 職員も時間的にゆとりがあれば声をかけるなどしている。

	岡山県		美咲町	
	男性	女性	男性	女性
平均寿命	79.77歳	86.93歳	76.75歳	86.93歳
健康寿命	78.53歳	83.68歳	75.08歳	83.07歳

※健康寿命は要介護1までを健康な期間として捉えた計算式により計算された



国道53号線を 「チキンロード」に



グレードアップ委員会に 提案する



問 本町から岡山市内へ向けた国道53号線には、「養鶏場」「たまごかけごはんの店」「焼き鳥専門店」「ローストチキン専門店」「鳥の空揚げ専門店」など『鶏』に関連した店舗が立ち並び、どの店舗も大変賑わっている。

そこで、国道53号線を「鶏ロード」「チキンロード」などと命名し、沿線の市町村とともに売り出してはどうか。岡山市が呼びかけた広域連携事業に本町や久米南町も取り組み始



ここから始まる物語



答 定本町長

国道53号線沿線市町が加盟して観光や環境などを協議する「国道53号線グレードアップ委員会」があるが、この協議の場では非とも提案していき

いた。めた時期である。共同で看板設置、マップによるPR、鶏ツアーなど企画してはどうか。おそらく日本初の取り組みと思われ、町外からの集客も見込めると思うが考えは。

町政を問う

一般質問

三船勝之 議員



子どもの貧困対策は十分か

質問

各課でさまざまな

助成制度がある

答弁

美咲町の子育て支援策

住民課	家賃の助成
	予防接種費用の助成
健康増進課	妊婦健康診査等全額公費負担
教育総務課	自転車購入の助成
保険・年金課	高校生までの医療費無料化

問

厚生労働省の国民生生活基礎調査によると貧困線は122万円、貧困率は16・3%で、6人に1人は貧困の子どもがいるということである。

①本町独自の貧困対策はあるか。

②母子家庭の調査はしているか。

答

稲谷こども課長

①育児支援事業、生活支援事業、多

子世帯に対する水道料金の助成といった単独事業を行っている。

また、他課では表の事業などがある。

②母子家庭109世

問

母子家庭に対する行政の見守りが大切であり、子どもに対しても教育面でのサポートをしっかりとしていく体制作りが必要である。

実態の調査はどのように取り組んでいるか。

答

稲谷こども課長

実態の把握が支援の大きな要因になる。

母子世帯、父子家庭、子どもがいる家庭全ての

実態の把握に努めていきたい。

問

高齢者の皆さんは、本町の発展に貢献された皆さんである。

しかし、年々減少していく年金の中から高額な国民健康保険税、増加していく介護保険料などを負担しなければならぬ。

行政として恩返しの意味で医療費無料化の考えはないか。

せめて75歳以上、80歳以上それぞれの医療費がどのくらい必要なのか実態調査を行うべきである。

答

桑元保険・年金課長

75歳以上、80歳以上の医療費についての統計はとっていない。国では平成30年度か

質問

高齢者の医療費

無料化の考えは

答弁

単独町村での実施は

慎重な判断が必要

ら県下統一して財政負担の責任は県が持つような取り組みを進めている。

そのため単独市町村

であまりにも思い切った施策をすると、他市町村との差が広がり過ぎると懸念され、慎重な判断が必要だ。

答

定本町長

平成27年度の美咲町国民健康保険税徴収総額は2億6千万円である。

財政的なこともあるが、80歳以上、75歳以上の医療費の実態について調査してみたい。



どうする高齢者の健康

質問

不足している駐車場と トイレの増設を

町政を問う

一般質問

江原耕司 議員

答弁

状況を見極めて協議する



問

中央かめつちグ
ラウンドゴルフ場
は、大会開催時に駐車
場やトイレが不足して
いる。

駐車場は適当な場所
もあり、比較的安く増
設できるように思う。

また、近くにある消
防さくら隊の外用トイ
レは施設しており、使
用できない。現在のト
イレを増設してはどうか。

答

鈴木生涯学習課長
美咲町グラウン

ドゴルフ協会中央会の
管理により県内でも好
評で、町内外の愛好家
から非常に多くの利用

をいただいている。

現在の駐車場スペー
ス(約60台)やトイレ
について、日頃の利用
では不便はないと思わ
れるが、大きな大会で
は非常にご不便をかけ
ているのではと感じて
いる。

駐車場は、トイレ後
方のくぼ地を第一候補
地として協議したい。
トイレは、経費の面
から新設は難しいが、
増設の協議をしたい。

答

定本町長
優先順位を考慮

の上、トイレは増設、
駐車場は現地の状況を
見極めて検討していく。



大会時はトイレと駐車場が不足
(中央かめつちグラウンドゴルフ場)

質問

道路整備の課題解決に 向けた策は

答弁

緊急性の高い所から
順次解決を図る

問

ふるさと農道長
万寺線新設改良工
事を実施した時、残土
処理のために使用させ
てもらった土地の原状
復帰ができていないよ
うだが、現在の状況は。

答

矢木建設課長
残土処理が終わ

った跡地は整地し、境
界を整理してお返しす
ることになっていたよ
うだ。

整地、測量はできて
いるが、境界の整備に
ついては、民地のため
町の嘱託登記はできな
い。

登記手続きには、相
続、分筆、所有権移転
などがあり、登記申請

問

は個人でもらうた
め、手続きは止まって
いるのが現状である。

町道長原線の
拡幅工事が無理
なら待避所だけでも必
要ではと以前に質問し
たが、いまだに設置さ
れていない。

答

定本町長
要望について

は、緊急性が高いこと
や、通行量が多いこと
などから優先順位をつ
け施工している。

適切な場所を検討し
ながら待避所を設ける
予定である。



整備が待たれる町道長原線
(新城地内)

町政を問う

一般質問

形井 圓 議員



町民の安全のために 歩道設置を

質問

関係機関と協議し検討したい

答弁



急げ歩道の安全策

問

町道小中線では
原田地内の運動公
園から国道53号線まで
の間に歩道が設置され
ていない。

答

石戸教育総務課長
国道53号線沿いの
物産センター北側か
ら運動公園の多目的広
場まで歩道がない区間
が200mあり、その
区間が大変危険である

問

周辺には体育館、野
球場などがあり、中学
生も部活動で利用して
おり、打穴・大井和地
区からの利用者も多く
大変危険な道である。
安全のために歩道を
設置すべきではないか。

答

山下上下水道課長
本年度事業実施
をしたいと考えている。
どのような手順
で要望書を出すの
か。

答

定本町長
行政相談でも良
いが、要望は自治会長
を通して出してほしい。

問

要介護4・5の
人への支援策が新
設されたが、対象人数
は。
また、どのように周
知するのか。

答

福田福祉事務所長
介護者への手当
は、26年度までは非課
税世帯を対象としてい
たが、27年度からは課
税世帯へも支援を広げ
た。

答

福田福祉事務所長
支給には介護期
間の確認が必要であ
る。全体には「広報み
さき」でお知らせし、
在宅の方には介護支援

問

非課税世帯には9千
円、課税世帯には半額
の4,500円の支給
を考えている。
対象者は122人程
度を予想しており、「広
報みさき」で周知する。
対象者に直接お
知らせするのが行
政の責務ではないか。

質問

自宅介護者へ 手厚い支援を

答弁

支援対象者を 27年度から拡大

答

また、介護保険料が
7,800円に対し、
4,500円の支援で
は少ない。金額の再考
を。
事業所のケアマネー
ジャーに毎月訪問時に説
明してもらう。

答

定本町長
行政は申請主義
である。また、いろん
なケースがあるため、
全員への連絡は難しい。
支給金額については
現状でお願いしたい。



質問

介護保険法改正に対する 町の方針は

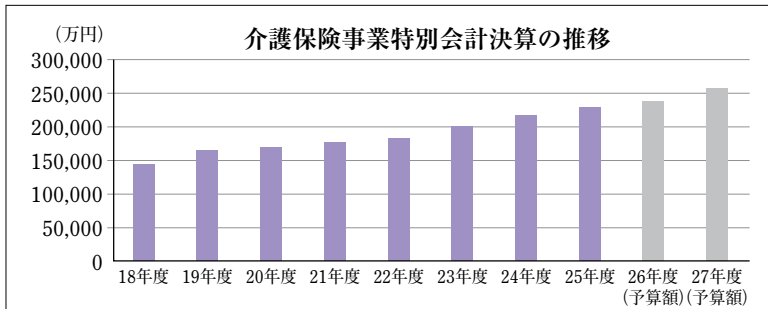
町政を問う

一般質問

松田英二 議員

答弁

介護現場に合わせた 体制を構築する



問

介護保険法の改正によって平成29年度から要支援1・2に判定された人は介護保険の訪問介護・通所介護の適用が受けられなくなる。
この結果、町で実施する地域支援事業を強化することで介護予防の重点化を図ることになるが、具体的な方針は決まっているのか。

答

村島健康増進課長
地域包括支援センターにおいて、要支援1・2に判定された人のプランを再点検した。

問

町の基本的な事業方針が定まらないうと、介護事業者やボランティアの皆さんも判断できない。町長の考えはどうか。

答

定本町長
国民健康保険事業には予算の法定外繰り入れができるが、介護保険事業はそれがない。
社会福祉協議会などの協力を受けながら、地域包括支援センターにおける現場の意見を聞きながら進めていきたい。

質問

地方創生の柱は安定した 雇用の確保である

答弁

雇用確保に向けた 条例制定に取り組む

問

国は地方創生を唱えて全国の地方自治体に地方版総合戦略の策定を義務付けた。この戦略策定にあたっては安定した雇用の確保は一方の柱とならなければならない。
大都市圏から地方への人と企業の拡散が始まる時、積極的な企業誘致活動が活発化し各自治体間の競争激化が予想される。
本町も誘致企業の認定基準をしっかりと定めて、各種奨励金制度の内容を検討した上で美咲町企業誘致条例の見直しを図るべきである。

【県下市町村の奨励制度】

誘致企業への税制上の優遇措置

固定資産税減免	21市町村
---------	-------

誘致企業への特別な優遇措置

設備等奨励金	20市町村
土地取得奨励金	19市町村
新規雇用奨励金	18市町村

答

畑尾まちづくり課長
地方創生を実現させる鍵は安定した雇用の創出が大きく関わってくる。
今後、総合戦略策定に向けた議論の中で検討を重ねていく。

答

定本町長
美咲町振興計画の中には定住促進を一番に掲げている。そのためには雇用の確保が一番重要と考える。
改めて雇用確保に向けての条例などを考えながら今後の方針を立てていきたい。

空き家等適正管理の
現状はどうか

質問

協議会設置など進めている

答弁



問 率はどういう状況になっているのか。

答 ①空き家率は表のとおり。
②税務情報などの照会が可能になったことで、これまで把握できなかった空き家などの所有者を特定しやすくなると考えている。

措置法施行により町長、地域住民、議員、

②空き家対策特別措置法の運用状況は。畑尾まちづくり課長

	空き家率	
全国平均	13.5%	
岡山県	15.8%	全国14位
美咲町	15.5%	県18市町村中11位

※H25 総務省住宅・土地統計調査より

問 町民に空き家バンク、空き家除去の支援など周知徹底すべきである。今以上に迅速かつ成果の見える取り組みが必要だと思うが町長の方針は。

答 定本町長 1番の問題が持ち主の特定である。特定できないと行政代執行も難しい。協議会に諮りながら取り組みたい。

問 町は、NPO法人スボレク柵原に結婚推進事業を委託して進めている。昨年の実績では4組のカップル誕生が確認されている。今後、予算、開催回数、内容などにさらなる改善、工夫が必要であり、次の展開はどうか。

答 畑尾まちづくり課長 限られた予算ではあるが、さまざまな工夫は常に必要だ。同様の趣味を持った人が集まるイベントや少人数制のイベントなど他の成功事例を参考にしながら町の直営事業、委託事業の両面から検討していかなければならない。



パートナー みつけて住もう 美咲町
(婚活イベント)

質問

結婚推進事業

次の展開は

答弁

成功事例などを参考に進める

問 仲人のボランティア団体を結成して活動すれば、さらに充実した取り組みができるのではないか。

答 定本町長 昨年はNPO法人にお願いして婚活イベントを開催した。これからは、若いグループの意見を聞きながら、体験を交えながら、若人が自ら行うような婚活イベントをやっていきたいと考えている。



子どもたちの夢が 実現する美咲町に

町政を問う
一般質問

岡田 壽 議員



語った夢を大事にする施策に



私たちの夢を未来へ
(優秀作文発表会)



問 合併10周年記念事業の中で「子どもたちの考えるまちづくり作文」の発表があり、作文集も各戸に配布された。

作文を基にした教育への取り組みは。



答 泉教育長
作文集の発刊は、合併10周年の節目に町の将来を担う子どもたちが郷土愛を養い、町の教育の基本理念を実現する手段として計画した。町や自分の将来像などを考えて作文を書いた。

文集に載らなかった作品の内容も掲載され



問 この作文を施策に生かせばさまざまなことができる。

子どもたちの声をどう取り上げるのか。



答 定本町長
子どもたちの夢は大事である。

実現するかどうかはわからないが、夢を持つて生きていくことは大事であり、作文は価値あるものであった。



人口減少対策に積極的な 結婚推進を



真庭市の状況を 研究しながら取り組む



問 地方創生の本質は人口減少対策だと考える。

町は結婚推進事業に取り組んでいる。

真庭市では18人の縁結び推進委員と52人の縁結びサポーターが活動して4年間で37組の結婚に結びつけたという大きな成果を上げている。本町でも取り入れる考えは。

また、本町の未婚率はどうか。



答 畑尾まちづくり課長
本町の2010年国勢調査での未婚率は表のとおり。

全国平均と比べ、男性の35～39歳が7%高く、他の年代は全国平均より低い傾向である。

結婚推進については、これまでにさまざまなイベントを開催して4組のカップルが誕生している。今後情報収集に努めて



答 定本町長
結婚推進事業のイベントの応募登録については、応募者の気持ちに配慮しながら婚活イベントを進めてきた。

過去37組を成立させた真庭市方式で成果が上がるなら調査研究したい。

美咲町の未婚率(2010年国勢調査によるもの)

	男性(%)	女性(%)
20～24歳	89.7	84.7
25～29歳	70.1	51.3
30～34歳	45.0	28.1
35～39歳	42.8	21.1

町政を問う

一般質問

松島 啓 議員



協働のまちづくりを どう進めるのか

質問

地域の調査・研究・分析を 行いたい

答弁

問 合併10周年記念事業として、小中学生に将来の町の姿を題材に作文募集した。多数の作品が寄せられた。子どもたちの夢をかなえるためにも、まちづくりをどのように進めていくのか。

答 煙尾まちづくり課長 県事業の「おかやま元氣集落」にも新たに3地域が取り組む予定だ。

問 合併10周年記念事業として、小中学生に将来の町の姿を題材に作文募集した。多数の作品が寄せられた。子どもたちの夢をかなえるためにも、まちづくりをどのように進めていくのか。

答 煙尾まちづくり課長 県事業の「おかやま元氣集落」にも新たに3地域が取り組む予定だ。



地域の絆を深めよう

答 定本町長 地域の文化や歴史を受け継ぎ、知識や経験を出し合いながら自主防災組織の立ち上げなどに成果をあげてきた。

世界に羽ばたく元気な美咲町、住んでいてよかった、これからも住み続けたい美咲町づくりにまい進したい。

答 定本町長 地域の文化や歴史を受け継ぎ、知識や経験を出し合いながら自主防災組織の立ち上げなどに成果をあげてきた。

世界に羽ばたく元気な美咲町、住んでいてよかった、これからも住み続けたい美咲町づくりにまい進したい。

問 人の優しさ、豊かな自然、住みやすさなど多くの資源を町内外に発信すべきではないか。

答 岡部副町長 まちづくりやヒット商品を生むにはストーリーが必要だと言われている。たまごかけごはんも美咲流のストーリーができ、メディアとつながり全国に広まった。

問 人の優しさ、豊かな自然、住みやすさなど多くの資源を町内外に発信すべきではないか。

答 岡部副町長 まちづくりやヒット商品を生むにはストーリーが必要だと言われている。たまごかけごはんも美咲流のストーリーができ、メディアとつながり全国に広まった。

問 人の優しさ、豊かな自然、住みやすさなど多くの資源を町内外に発信すべきではないか。

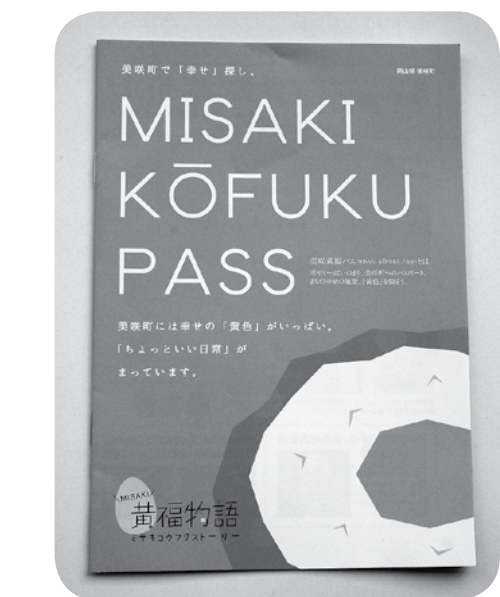
答 岡部副町長 まちづくりやヒット商品を生むにはストーリーが必要だと言われている。たまごかけごはんも美咲流のストーリーができ、メディアとつながり全国に広まった。

答弁

町の魅力づくりに力を入れる

質問

さらなる町のPRを



美咲町の情報が満載ですよ

問 今後、黄福広場の魅力づくりを行いたい。

答 遠藤情報交通課長 ホームページでは、各課で内容を更新できるシステムに変更して情報をいち早くお知らせできるようにしたい。

答 定本町長 名誉町民制度も一つの方法である。今後、斬新な施策が必要だ。

問 今後、黄福広場の魅力づくりを行いたい。

答 遠藤情報交通課長 ホームページでは、各課で内容を更新できるシステムに変更して情報をいち早くお知らせできるようにしたい。

答 定本町長 名誉町民制度も一つの方法である。今後、斬新な施策が必要だ。

質問

高齢者の生活環境 悪化意識の改善策は

町政を問う

一般質問

延原正憲 議員

答弁

地域ケア会議を中心に 改善を図る



問

第二次振興計画
の住民意識調査で

高齢者の生活環境の悪
化が指摘されている。

①調査結果が悪化し
た要因は何か。

②高齢者福祉対策の
定期的なワークショップ
の実施状況は。

③高齢者福祉のケア
会議の実施体制は。

答 桑元保隆・年金課長

①調査時点の社
会・経済状況を踏まえ
た機運が大きく反映し
ているのではと考える。

答 村島健康増進課長

②一般公募で参
加してもらった住民を
主体に食育グループ



地域のことはみんなで話し合っ
て (小地域ケア会議)

「みさきみんなの台所
会」、健康グループ「健
康ポイント実行委員
会」として動いている。

また、福祉グルー
プの「お達者さん発掘
プロジェクト」として
ワークショップを定期
的に開催し、実効ある
対策を実施している。

③町内55カ所で「小
地域ケア会議」を、旧
3地域で「地域ケア
会議」を定期開催して
いる。これらを踏まえ
て町に対し包括したケ
アシステムを提言する
機関として「地域包括
ケア会議」を設置し実
施している。

質問

老朽危険家屋への 早急な対応を

答弁

協議会で条例改正を検討する

問

政府において
「空き家対策特別
措置法」が5月26日に
全面施行された。

懸案である町内の老
朽危険家屋の撤去が促
進されると期待する。

法の執行に必要な協
議会設置や条例変更の
スケジュールは。

また、空き家の実態
調査の進捗状況は。

答 畑尾まちづくり課長

早急に協議会を
設置し、町の条例改正
を検討していきたい。

また、自治会長の協
力で得た500件を超

問

える空き家情報の実態
調査を集中的に実施す
る。

問

管理不十分な老
朽危険家屋は倒壊
の危険や火災、犯罪の
危険性が指摘されてい
る。

事故や犯罪が発生す
る前にスピード感を持
った対応が必要では。

答

定本町長

倒壊の危険があ
る特定空き家に対し
て命令や行政代執行が
可能となった。

緊急性のある空き家
は必ずやっていく。



真剣に考えよう 空き家の問題

町政を問う

一般質問

山本宏治 議員



奨学金制度で 若者定住対策を

質問

津山圏域戦略会議で 検討したい

答弁



大学行っても地元に戻って来てね

問

県外へ進学して
いる学生が卒業
後、本町で生活すれば
返還を全額免除する奨
学金制度を創設し、入
学当初から周知すれ
ば、若者定住対策につ
ながるのではないか。

答

煙尾まちづくり課長
十分検討する余
地はあるが、財源、返
還などの問題があり研
究していきたい。

答

定本町長
津山圏域で地方
創生総合戦略会議を発
足した。その中で奨学
金制度に取り組んでは

問

どうかと考えている。
富田基金、福田
基金を活用し、本
町独自の奨学金制度を
設けてはどうか。

答

泉教育長
福田基金は寄贈
者のご意向で学校図書
の充実に限るという指
定がある。

富田基金は、使い方
について審議会などを
毎年重ねている。これ
まで、毎年500万円
を教育関係と福祉関係
で交互に使っている。

このため奨学金制度
に生かすことは難しい。

質問

国道429号

改良の進捗状況は

答弁

30年代前半の完成に向け進行中

問

平成5、6年当
時、国道429号
は、平成20年をめどに
全線開通とのことであ
った。

いまだ開通に至って
いないが進捗状況は。

また、付帯工事とし
て予定している西川地
内岸谷川歩道橋の早期
着手はできないか。

答

山本旭総合支所
産業建設課長

江与味第2トンネル
の工事が平成28年度末
の完成を目指して進ん
でいる。

その後、下谷川橋と
小玉淵トンネルへと工
事が進み、旭大橋に到
着して完成となるが、
平成30年代前半になる
見込みである。



完成が待たれる国道429号
(旭地域)

問

国道429号に
関連して、江与味地
内から真庭市に至る県道
江与味上河内線の改良工
事の状況はどうか。

答

山本旭総合支所
産業建設課長

岸谷橋の歩道橋につ
いては、事業手法を県
民局と連携しながら検
討しているところであ
る。

県道江与味上河内線
については、現在進め
ている測量が完了し、
あらかたのご了解が頂
ければ、間もなく皆さ
んに発表できるのでは
ないかと思われる。



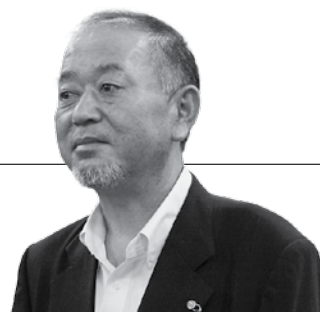
3世代同居促進の 具体策は

町政を問う
一般質問

林田 実 議員



各方面からの施策で 複合的に取り組む



美咲町内の3世代同居世帯			
地 域	旭地域	中央地域	柵原地域
世帯数 (%)	166世帯 (15.1%)	265世帯 (9.5%)	228世帯 (9.2%)
全 体	659世帯 (10.35%)		

問 3世代同居における家庭教育が子どもの生活習慣、情操教育、思いやり、社会的マナーを身につける場として重要な役割を果たすのでは、と文部科学省の白書でも示されている。

答 岡部副町長 子育てしやすい環境づくり、本町のみならず周辺地域の雇用状況の改善、地域の触れ合いなどが活発になるような魅力あるまちづくりに取り組む。

答 定本町長 各課からの具体的な例が出たように複合的に取り組むべきである。

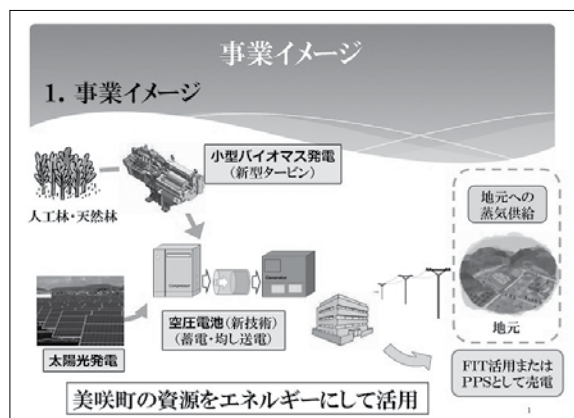
3世代同居の世帯にある程度の特権を持たせ、優遇措置をとることも可能性として考えられ、定住の大きな要素になりうる。

議会の勉強会開催

時代を先取りした ハイブリッド発電への取り組み

5月29日、美咲町再生可能エネルギー協議会の委員5人を招き、ハイブリッド発電施設に対する勉強会が開催されました。

時代を先取りした最先端技術の今後の進展に期待してください。



視察受け入れ

美咲町の「たまごかけごはん」は 宮城県でも有名

5月20日、宮城県大和町議会の議会広報常任委員会が「議会だよりみさき」の編集方法を研修するために来町されました。

美咲町の「たまごかけごはん」は、遠く宮城県までも名前が轟いていました。



開かれた議会をめざして 合併10周年記念

第4回

美咲町議会報告会および 意見交換会を開催します。



～みんなで考えよう美咲町の未来～

日 時	ご案内団体	場 所
平成27年8月25日(火) 午前10時～正午	女性中心の各種団体	● 美咲町林業センター
平成27年8月26日(水) 午後7時～9時	青壮年・子育て世代 中心の各種団体	● 旭町民センター
平成27年8月27日(木) 午前10時～正午	実年世代中心の各種団体	● 柵原総合文化センター

※3日間、3会場で同時開催します。開催日ごとに、特に上記の各種団体にご案内をしておりますが、どなたでもご都合の良い会場へお誘い合わせの上お気軽にご参加ください。

★ボクたち美咲町と同級生!★

美咲町合併10周年を記念して、美咲町誕生の年にお生まれになった小学4年生を対象に今号の表紙写真を募集したところ、3人のご応募をいただきました。(応募順にご紹介します)



こばやし よしひろ
小林 佳弘くん (加美小学校)



ふくい けんと
福井 研登くん (柵原東小学校)



かわむら こうき
河村 恒輝くん (美咲中央小学校)



ありがとうございました! 今後も健やかなご成長をお祈りします!

次回、議会だより第42号表紙には、小学6年生のお子さんの写真を募集します。

- データで応募: gikai@town.okayama-misaki.lg.jp へ
- 写真で応募: 美咲町原田1735 議会事務局へ
広報委員一同、ご応募お待ちしております!

いずれも児童氏名、保護者氏名、ご住所、昼間につながる連絡先をご記入ください。



もっと美しく咲かせよう～





これからの10年で



町民の皆さんこんにちは

サークル紹介
第22回

絵画は心の栄養剤



柵原絵画サークル

●いつ頃から活動していますか●

昭和57年から活動を始めて、今年で33年を迎えます。

●どんな活動をしていますか●

メンバーが月1枚ずつ作品を作り、小学校、図書館、老人ホームなどで年に20回の展示会を開いています。

●メンバー構成は●

60代～90代の男女11人で活動しています。

●活動を始めたきっかけは●

生涯学習の絵画教室で絵を習ったのがきっかけです。

●楽しいことは何ですか●

集中して描いた絵が完成した時の達成感と会員みんなで絵の鑑賞会に参加すること。

●これからの活動は●

県北美術展、県美術展などに積極的に参加していきます。地域の人に夢と希望を与えるような作品を描き続けていきたいと思っています。

●議会に一言●

絵画、書道、華道など文化の向上に高い関心を持ってください。

美咲町のキャンパスに

大いなる想いを描き続けてください

編集
後記

多くの台風
とともにやって
きた暑い夏も、
はや立秋を迎えました。

台風来襲のたびに被害がないことを願うのですが、祈るだけでなく予測される災害に備え、予防することが大切です。

また、災害の有無にかかわらず地域防災の要として活動している美咲町消防団ですが、このたび「さくら隊」が岡山県代表として、2年後に行われる女性消防隊による軽可搬ポンプ操法の全国大会出場が決定し、すでに訓練を開始しています。さくら隊の挑戦と同様に議会だよりも今回より誌面を一新し、全国優勝を目指してまいります。ぜひご期待ください。

(左居記)

議会広報編集特別委員会

委員長 松田 英二

副委員長 金谷 高子

左居 喜次

片山 剛

延原 正憲

江原 耕司